

福島大学 学術講演会のご案内

「危機への対応を見れば、その社会の本当の姿や骨組みが見えてくるといえるように感じた。わずかな数秒で自然が人間の作った全てのものを破壊できること、しかし、人間の強さや地域のリーダーシップに加え、人々が力を合わせれば、とても乗り越えられないような困難を乗り越え、社会の復興していくことが可能であることを目撃した。」

2011年7月30日 アンドレアス・シュライヒャー

シュライヒャー氏は、OECD(経済協力開発機構)教育局にて、PISA(生徒の学習到達度調査)やTALIS(教員・教授・学習に関する調査)等な国際比較事業を立ち上げ、教育政策分析・政策提言を行っています。近年では、政策分析に留まらず、実際に、教育改革を推し進めるための成功要因や懸念事項など、OECD諸国の事例研究より示唆しています。母国であるドイツの教育が様々な問題を抱えていることをデータにより明らかにし、ドイツの教育改革の重要性を改めて示すなど、国民の意識改革を図る契機をつくった功績により、国家的な賞である「ドイツ・テオドア・フス賞」を受賞しました。

福島大学にて、シュライヒャー氏が、OECD諸国の教育政策・実践の潮流と照らし合わせ、東北の創造的教育復興を示唆します。これは、東北復興に留まらず、日本が国家レベルで直面している経済の再建を考える上での示唆とも関連します。これまでと違う能力や技術を備える人材をネイション・ビルダー(未来を担う子ども達の教育に直接携わり、国を創っていく人々)の育成が必要になる中、既存の制度や通常観念を超えた教育改革が必要になるであろうと彼は提唱します。

これは、教育内容を単に再生産する教育から、コンピテンシー(単なる知識や技能だけではなく、技能や態度を含む様々な心理的・社会的なリソースを活用して、特定の文脈の中で複雑な要求(課題)に対応することができる力)を高める教育へ、国民国家のための教育から地域社会の市民のための教育へ、日本社会とグローバル社会、試験地獄で競争するための教育から社会統合と社会技能を強化する教育へ、その場限りの教育(その場の状況が許せば一将来の結果を考えずに一何でもするし何度でも作る)から、持続可能な教育へと変革する試みです。

福島大学では、この変革の実験的な取り組みとして、OECD東北スクールを実施しています。震災復興で必要とされる教育とは何か、そして、国家の課題を解決するために、イノベーションを生み出す人材育成のための教育とは何か、東北の復興視察経験のあるシュライヒャー氏と、復興について振り返る機会ではないでしょうか。ふるってご参加ください。

演題：「被災地の教育復興とイノベーション」

(逐次翻訳付)

主催：福島大学・人間発達文化学類

日時：平成25年 2月4日(月) 16:00-18:00

場所：福島大学共通講義棟 M-24 教室

講師：アンドレアス・シュライヒャー OECD教育局次長・事務総長教育顧問

[シュライヒャー氏 プロフィール]

Andreas Klaus Reinhold SCHLEICHER

1964年7月7日生まれ(48歳) ドイツ・ハンブルグ出身

1984-1990年	フィリップメディカルシステム・情報管理システムプロジェクト マネージャー
1989-1991年	ドイツ・ハンブルグ大学IEA(国際教育到達度評価学会)データ・ プロセッシング・センター国際データマネージャー
1992年	ドイツ・ハンブルグ大学IEAデータ・プロセッシング・センター 国際コーディネーター
1993-1994年	オランダ・ハーグIEA事務局データ管理分析部長
1994-1995年	OECD教育統計インディケータ課担当官
1995-2002年	OECD/DELSA(教育雇用社会問題局)統計指標課長
1997年～	OECD/PISA(生徒の学習到達度調査)責任者
2002-2012年	OECD/教育局指標分析課長 (Head, Indicators Analysis Division, Directorate for Education, OECD)
2006年～	ドイツ・ハイデルベルグ大学客員教授
2010年～	OECD事務総長教育政策特別顧問 (Education Policy Advisor of the OECD Secretary-General, OECD)
2012年～	OECD教育局次長 (Deputy-Director, Directorate for Education, OECD)



■対象：どなたでも自由に参加できます。
■参加料：無料
■事前申し込み：当日直接会場にお越しください。なお資料等の準備の都合上、左記の問い合わせ先までお申し込みいただければ幸いです。

お問い合わせ 福島大学人間発達文化学類 三浦浩喜

E-mail: miura@educ.fukushima-u.ac.jp 電話/ファックス: 024-548-8227